



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,565	3.7	△74	—	△50	—	△62	—
24年3月期第3四半期	6,328	1.8	△22	—	4	—	△71	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △60百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△13.23	—
24年3月期第3四半期	△15.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,281	4,222	57.4	878.57
24年3月期	7,363	4,386	59.2	917.91

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,178百万円 24年3月期 4,357百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	15.2	388	36.5	411	25.5	200	47.2	42.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： 有 |
| ④ 修正再表示              | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	5,120,530株	24年3月期	5,111,730株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	364,140株	24年3月期	364,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	4,753,536株	24年3月期3Q	4,740,634株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の数値はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましてはP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	10
生産、受注及び販売状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における、当社及び連結子会社からなる企業集団（以下「当社グループ」といいます。）の業績は、売上高65億65百万円（前年同期比3.7%増）、営業損失74百万円（前年同期は営業損失22百万円）、経常損失50百万円（前年同期は経常利益4百万円）、四半期純損失62百万円（前年同期は四半期純損失71百万円）と、前年同期と比較して、営業利益及び経常利益は減少いたしました。なお、売上高及び四半期純利益は増加いたしました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業（受注ソフトウェアの個別受託開発）につきましては、教育機関及び官公庁向け案件は減少しましたが、製造業、金融業向け案件は増加し、売上高44億29百万円（前年同期比8.2%増）、営業損失89百万円（前年同期は営業損失12百万円）の増収減益となりました。

次に、パッケージ事業（学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス）につきましては、保守は増加しましたが、EUC（End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発）、仕入販売及び導入支援は減少し、売上高11億55百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益1億72百万円（同15.8%減）の減収減益となりました。

最後に、システム販売事業（IT機器の販売及び情報通信インフラの構築）につきましては、教育機関及び公共系SI（システム・インテグレーション）向け案件は増加しましたが、サービス・流通業向け案件は減少し、売上高9億21百万円（前年同期比3.9%減）、営業損失21百万円（前年同期は営業損失38百万円）の減収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は57億17百万円（前連結会計年度末比3億40百万円減）となりました。これは主として期中の仕掛品の増加並びに現預金及び売掛金の減少等の増減の結果であります。また、固定資産の残高は15億64百万円（同2億59百万円増）となりました。これは主としてオフィスの増床と移転に伴う保証金の差入及びのれんの発生による増加であります。

次に、流動負債の残高は17億61百万円（同26百万円増）となりました。これは主として短期借入金の増加並びに買掛金の減少等の増減の結果であります。また、固定負債の残高は12億97百万円（同55百万円増）となりました。これは主として役員員の退職関連の引当金の増加であります。

最後に、純資産の合計残高は42億22百万円（同1億63百万円減）となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の状況は、期首の資金残高20億15百万円より3億96百万円減少し、16億19百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、2億70百万円の支出（前第3四半期連結累計期間は93百万円の収入）となりました。この差額は主としてたな卸資産、前受金の増加並びに売上債権の回収及び仕入債務の減少による差引きの結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、2億65百万円の支出（同1億99百万円の支出）となりました。この差額は主として差入保証金及び有形固定資産の増加並びに定期預金への預入額の減少による差引きの結果であります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億30百万円の収入（同7億91百万円の支出）となりました。この差額は主として借入金の純増によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が景気を下支えする一方、世界経済の減速への懸念や為替の円高継続などを背景として、低調に推移しました。年末に向けて政権交代に伴う経済政策への期待感から、円安株高の進行等、明るい兆しも見えてきたものの、依然として先行き不透明な状況にあります。

国内IT産業につきましては、直近の統計（経済産業省、特定サービス産業動態統計平成24年11月確報）において、売上高前年同月比のプラス傾向を維持しており、業界全体としては回復基調で推移しておりますが、上で述べたように景気の先行き不透明な状況を背景に、回復力はまだまだ脆弱であると認識しております。

このように足元はまだまだ厳しい状況ではありますが、当社グループにおきましては年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業においては、昨年度に再編成を行った金融、流通サービス等主力産業別の特化組織を中心に、引き続き収益基盤の強化並びに提案型営業の推進に取り組み、業績の継続拡大を実現する所存です。また新ビジネスの研究開発投資をより強力に推進し、新たな収益の柱を築くことに注力するため、新規事業拡大のための組織を新設しております。

次に、パッケージ事業においては、関東圏及び関西圏にそれぞれ独立して設置した事業部を中心に、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るとともに、自動証明書発行機、情報端末やホスティングサービスなど最新の文教ITサービスを提供してまいります。加えて、主力プロダクトの次世代製品の開発並びに更なる新ビジネスの具体化にも本格的に着手すべく、新組織を立ち上げ、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう取り組んでまいります。

最後に、システム販売事業につきましては、強含みの受注トレンドを確実に収益に結び付けるとともに、SEサービス等高収益分野のシェア向上にも取り組み、業績の継続拡大を図ります。

これらを踏まえ平成25年3月期の連結業績予想は平成24年5月9日付の当初発表どおり、売上高104億円（前連結会計年度比15.2%増）、営業利益3億88百万円（同36.5%増）、経常利益4億11百万円（同25.5%増）、当期純利益2億円（同47.2%増）を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成24年7月2日（みなし取得日は平成24年7月1日）に株式会社新日本ニーズ及びSafeNeeds株式会社の株式を取得いたしました。また、SafeNeeds株式会社の役員が桂林安信軟件有限公司の持分を全額保有していること及び董事会構成員数の過半数を占めていることから、実質支配力基準に基づき桂林安信軟件有限公司につきましても連結の範囲に含めております。なお、桂林安信軟件有限公司の決算日は当社の決算日と異なるため、当第3四半期連結会計期間より、桂林安信軟件有限公司の第3四半期会計期間にあたる平成24年7月1日から平成24年9月30日までの損益につきましても連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,537,485	3,142,543
受取手形及び売掛金	1,766,455	1,392,021
商品及び製品	142,784	212,270
仕掛品	310,505	664,701
原材料及び貯蔵品	1,885	2,754
繰延税金資産	208,676	210,752
その他	92,848	94,179
貸倒引当金	△2,553	△2,091
流動資産合計	6,058,088	5,717,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	380,360	406,663
減価償却累計額	△269,431	△291,660
建物及び構築物（純額）	110,929	115,002
土地	142,361	142,361
その他	167,958	205,130
減価償却累計額	△143,517	△158,452
その他（純額）	24,441	46,678
有形固定資産合計	277,732	304,043
無形固定資産		
のれん	—	37,416
ソフトウェア	21,403	17,825
その他	6,818	7,189
無形固定資産合計	28,222	62,432
投資その他の資産		
投資有価証券	206,986	206,421
長期貸付金	2,694	2,694
繰延税金資産	247,156	249,364
差入保証金	248,365	447,059
前払年金費用	124,973	118,144
その他	219,857	234,984
貸倒引当金	△50,861	△60,549
投資その他の資産合計	999,173	1,198,118
固定資産合計	1,305,128	1,564,594
資産合計	7,363,216	7,281,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	623,203	369,137
短期借入金	15,378	295,492
1年内返済予定の長期借入金	—	2,400
未払法人税等	178,162	5,776
賞与引当金	393,384	233,267
役員賞与引当金	19,176	18,888
資産除去債務	31,449	31,931
その他	474,217	804,293
流動負債合計	1,734,971	1,761,188
固定負債		
長期借入金	—	4,800
退職給付引当金	848,983	873,170
役員退職慰労引当金	371,941	390,715
繰延税金負債	—	2,558
その他	21,162	26,559
固定負債合計	1,242,087	1,297,803
負債合計	2,977,058	3,058,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,665	921,928
資本剰余金	881,304	883,566
利益剰余金	2,815,796	2,634,194
自己株式	△266,494	△266,494
株主資本合計	4,350,271	4,173,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,051	16,983
為替換算調整勘定	△11,471	△11,372
その他の包括利益累計額合計	7,579	5,611
新株予約権	1,001	992
少数株主持分	27,305	42,935
純資産合計	4,386,158	4,222,734
負債純資産合計	7,363,216	7,281,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,328,209	6,565,408
売上原価	5,040,429	5,379,077
売上総利益	1,287,780	1,186,331
販売費及び一般管理費	1,309,790	1,260,459
営業損失(△)	△22,010	△74,128
営業外収益		
受取利息	7,193	7,478
受取配当金	2,554	3,726
受取賃貸料	11,825	11,420
保険解約返戻金	12,048	—
その他	11,664	9,932
営業外収益合計	45,287	32,557
営業外費用		
支払利息	2,866	1,204
賃貸費用	5,947	6,075
新株予約権発行費	5,200	—
固定資産除却損	3,589	123
その他	673	1,488
営業外費用合計	18,277	8,890
経常利益又は経常損失(△)	4,999	△50,461
特別損失		
投資有価証券評価損	2,225	—
特別損失合計	2,225	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,773	△50,461
法人税等	74,249	8,046
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△71,475	△58,507
少数株主利益	471	4,404
四半期純損失(△)	△71,946	△62,912

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△71,475	△58,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△547	△2,068
為替換算調整勘定	△5,222	305
その他の包括利益合計	△5,769	△1,762
四半期包括利益	△77,244	△60,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,833	△64,880
少数株主に係る四半期包括利益	△2,411	4,610

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,773	△50,461
減価償却費	24,656	40,340
ソフトウェア償却費	7,109	6,612
のれん償却額	32,866	4,157
賞与引当金の増減額(△は減少)	△196,090	△166,265
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,892	24,015
前払年金費用の増減額(△は増加)	13,543	6,829
受取利息及び受取配当金	△9,748	△11,204
支払利息	2,866	1,204
新株予約権発行費	5,200	—
売上債権の増減額(△は増加)	519,045	437,264
前受金の増減額(△は減少)	200,074	233,115
たな卸資産の増減額(△は増加)	△219,929	△422,519
仕入債務の増減額(△は減少)	△226,431	△292,322
その他	101,305	81,967
小計	274,133	△107,266
利息及び配当金の受取額	8,761	12,224
利息の支払額	△2,838	△1,204
法人税等の支払額	△186,469	△173,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,587	△270,101
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△195,531	△26
有形固定資産の取得による支出	△11,046	△47,848
保険積立金の取崩による収入	29,441	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△18,788
差入保証金の差入による支出	△17,315	△196,777
その他	△4,747	△1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,200	△265,230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△582,569	279,223
長期借入れによる収入	—	7,800
長期借入金の返済による支出	△90,000	△41,687
株式の発行による収入	3,947	4,516
自己株式の取得による支出	△33	—
新株予約権の発行による支出	△4,190	—
配当金の支払額	△118,478	△118,689
少数株主への配当金の支払額	—	△478
その他	—	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791,324	130,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	8,705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△896,928	△396,121
現金及び現金同等物の期首残高	2,420,306	2,015,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,523,378	1,619,582

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	4,094,892	1,274,080	958,315	6,327,288	921	6,328,209
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	98,270	98,270	△98,270	—
計	4,094,892	1,274,080	1,056,586	6,425,558	△97,349	6,328,209
セグメント利益又は損失(△)	△12,261	204,997	△38,226	154,508	△176,518	△22,010

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△176,518千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	4,429,791	1,155,698	921,161	6,506,651	58,756	6,565,408
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,260	—	29,812	33,073	△33,073	—
計	4,433,051	1,155,698	950,974	6,539,724	25,683	6,565,408
セグメント利益又は損失(△)	△89,683	172,695	△21,250	61,761	△135,889	△74,128

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△135,889千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、第2四半期連結会計期間に株式会社新日本ニーズ及びSafeNeeds株式会社の株式を取得し連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は41,574千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴うセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	3,767,204	108.7
パッケージ事業 (千円)	732,953	91.0
システム販売事業 (千円)	780,646	107.7
その他 (千円)	98,273	223.6
合計 (千円)	5,379,077	106.7

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,696,915	139.5	1,382,281	152.0
パッケージ事業 (千円)	1,436,139	109.8	773,668	107.1
システム販売事業 (千円)	1,002,505	85.2	611,394	186.8
その他 (千円)	315,485	12,116.8	270,752	15,440.3
合計 (千円)	7,451,045	127.3	3,038,096	154.9

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,429,791	108.2
パッケージ事業 (千円)	1,155,698	90.7
システム販売事業 (千円)	921,161	96.1
その他 (千円)	58,756	6,377.1
合計 (千円)	6,565,408	103.7

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱	667,700	10.6	645,145	9.8
㈱ダスキン	677,433	10.7	477,629	7.3
ドコモ・システムズ㈱	362,721	5.7	387,708	5.9

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。